



平成 22 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック  
代表者名 代表取締役社長 山 村 研 一  
(コード番号 2342 東証マザーズ)  
問合せ先 取 締 役 福 永 健 司  
(電話番号 078-306-0590)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 21 年 10 月 2 日付で公表した平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）の連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想の修正

通期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

|                           | 売上高    | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり当期純利益(円) |
|---------------------------|--------|------|------|-------|----------------|
| 前回発表予想(A)                 | 680    | △373 | △370 | △375  | △3,438.44      |
| 今回発表予想(B)                 | 600    | △373 | △370 | △375  | △3,438.44      |
| 増減額(B-A)                  | △80    | —    | —    | —     | —              |
| 増減率(%)                    | △11.8% | —    | —    | —     | —              |
| (ご参考)前期実績<br>平成 21 年 3 月期 | 324    | △624 | △605 | △634  | △5,821.31      |

#### 2. 差異および修正の理由等

当第 3 四半期は、売上高につきましては、抗体事業およびその他事業が順調に推移しました。しかしながら、食品事業については、第 2 四半期期間中におけるベビーリーフの天候不良による生産量への影響は回復するも、当第 3 四半期に収穫期を迎えるその他の野菜の卸売販売が、糖度不足等の影響により伸び悩みました。今後も各事業の積極的営業および諸コスト削減をさらにすすめますが、当該食品事業の売上減少の影響を補えない見通しであります。

利益につきましては、卸売販売に係る経費の抑制および管理部門経費の削減をすすめることにより、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに予想数値に変更はございません。

従いまして、通期の業績予想につきましては、当第 3 四半期の業績を踏まえ、上記のとおり修正いたしました。

なお、平成 22 年 3 月期個別業績予想につきましては、修正はございません。

※ 上記の予想は、本資料発行日現在において入手可能な情報に基づく予想であり、不確定要素を含んだものです。実際の業績は様々な要素により、大きく異なる結果となる可能性があります。

以上